

2025年の万引きの認知件数は10万5135件で前年より6843件増加しています。このうち、成人が半数を占め、次いで高齢者が約3割、少年が約1割。また、主な犯行場所は、デパート、ショッピングモール、スーパーマーケット等が

最も多く、次にコンビニエンスストアとなっています。万引きは事業者に経済的損失を与え、倒産につながる要因となることも少なくありません。さらに万引きは犯罪の入り口となる「ゲートウェイ犯

万引きは見逃さない

罪」と言われます。「万引きくらいなら許される」といった誤った認識から、「たかが万引き」「お金を払えば済む」などと犯罪を容認する雰囲気も生まれ、放置すれば将来の治安に悪影響を及ぼ

しかねません。事業者だけに任せることなく、警察、自治体、学校、家庭、地域住民、ボランティア団体等が連携し、「万引きをしない、させない、見逃さない」気運を醸成して取り組みましょう。

防犯一口メモ